

平成 30 年度「都道府県・政令指定都市犯罪被害者等施策主管課室長会議」

平成 30 年 5 月 24 日(木)

警察総合庁舎 大会議室

○主催者挨拶

警察庁で犯罪被害者等施策を担当しております官房審議官の山岸と申します。よろしくお願いたします。

都道府県・政令指定都市の皆様におかれましては、平素より犯罪被害者等施策の推進に御尽力をいただきまして、また、本日は、御多忙の中、御出席をいただき、本当に心から感謝申し上げたいと思います。

本年度は、御案内かと思えますけれども、犯罪被害者等基本法が施行されてから 13 年目となります。また、平成 28 年 4 月に閣議決定されました第 3 次犯罪被害者等基本計画は 3 年目を迎え、施策の取り組みは着実に進んでいるところであります。

この間、各地域におきましても全ての市区町村におきまして施策主管課が定められ、また、ほぼ全ての市区町村におきまして総合的対応窓口が設置されるなど、皆様方の本当に御尽力をもちまして支援体制の整備は着実に進んでおります。

しかしながら、その一方で、犯罪等の被害に遭われた方が実際に支援を受けられているのかというと、依然として様々な課題があるというのが正直なところであります。例えば、警察庁が昨年度実施いたしました犯罪被害類型別調査、これは先週、報道発表させていただきましたので、記事を見られた方も多いかと存じますけれども、実際に犯罪等の被害に遭われた方のうち、総合的対応窓口、市区町村でそういう窓口があるということを知らなかったと答えた方が約 8 割に上っております。また、被害に遭った後、何らの支援も受けず制度も利用しなかったと答えた方もほぼ 8 割という回答結果となりました。

大変残念なことでありまして、犯罪被害者等の方の置かれた状況をおもんばかりですと、何らの支援も受けず、制度の利用もしなかった方が 8 割に上ったという状況でありますので、この状況は何としてでも改善したいと感じております。

一方で、総合的対応窓口を知っていると答えた方が 2 割程度いらっしゃったわけですが、どのようにしてそういう窓口があるのを知りましたかというきっかけを尋ねましたところ、テレビ・ラジオというのが一番多く、その次に地方自治体の広報紙等によって知ったと答えた方が多くなっていました。

こうした結果を見ますと、総合的対応窓口の認知度の向上や利用促進に向けてやはり地道に広報していくということも大事なのではないかと改めて感じているところであります。行政、地方公共団体は犯罪被害者等の皆様の少しでも力になりたいと、役に立ちたいと思っておりますと、皆さんのお話を聞いて相談に応じるべく窓口を設けていますと、待っていますということを知ってもらうことから私たちの仕事は始まると今強く感じておりますので、よろしくお願したいと思えます。

その上で、第3次犯罪被害者等基本計画におきましては、地方公共団体における総合的対応窓口の充実や、あるいは総合的かつ計画的な犯罪被害者支援の促進など、いろいろな新しい施策も盛り込まれておりまして、従来以上に各地方公共団体の役割が大きくなっているように思いますし、それによりまして、犯罪被害者の方がきめ細やかな支援が受けられるとっております。

私自身は警察の出身でありまして、警察ももちろん犯罪被害者等の支援はしておりますし、ある程度、引っ張っている部分もあると考えておりますが、他方で、中期あるいは長期の支援になると、なかなか対応できない部分があると感じております。息の長い支援あるいは警察にはできない幅広い支援というものがあり、そういうものについては、地方公共団体、行政の皆さんの役割が大きいのとっております。

加えて、地域間連携の問題もあり、そういうものも含めて関係機関・団体との連携が重要で、そのために、今日お集まりの皆様方を含めて地方公共団体の役割というのは非常に大きいと感じております。

この犯罪被害者等支援の分野というのは、本当に連携というのが重要なキーワードだと考えております。民間支援団体、医療・保健機関、学校や法テラスあるいは弁護士会、検察庁、警察といった関係機関・団体が連携することで、大きな力が生まれると感じておりますので、行政が連携の結節点になっていただければ大変ありがたいと感じております。

本日は、都道府県・政令指定都市の犯罪被害者等施策主管課の皆様が集まる非常に貴重な1年に1回の機会でありまして、ぜひ情報共有あるいは地域間連携を深めていただく機会にさせていただければと思います。

後ほどグループに分かれての意見交換の時間も設けておりますので、活発な議論もしていただきたいと思っております。全国の都道府県・政令指定都市の主管課の皆様と情報共有をしたいと思っておりますので、ぜひ今日お集まりの皆様で共通の認識を持ち、有意義な情報交換の場としたいと感じております。

それでは、本日の会議の内容が、犯罪被害者等の支援に携わる皆様方に役立つことが1つでも増える場になるように祈念をいたしまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。